



学校だより

令和5年5月31日

No. 3 6月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

「思い出」いっぱい、これからも

校長 金子 博美

梅雨入りも近づき、道端の紫陽花もきれいに色づく季節になりました。

5月24日から一泊二日の修学旅行、6年生と栃木県の日光へ行きました。前日までの雨が上がり、朝からとてもよい天気でした。岸根高校からバスに乗車し、途中少し渋滞しましたが、華厳の滝、戦場ヶ原、湯滝と日光の自然を満喫し、ホテルに到着。その後も「ふくべ細工体験」や売店でお土産の買い物など、順調に一日目の全行程を楽しむことができました。翌日は、午



前中に輪王寺、東照宮を見学し、昼食後に最後の買い物を楽しみ、ほぼ予定通りに横浜に戻ってきました。(中のページにも詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください)

学校やホテルでの「出発式」「到着式」では、委員の子どもたちが「みんなと食べたホテルの夕飯がとてもおいしかったです」「友達と部屋でレクをしたことが楽しかったです」など、自分の感想をみんなの前で話していました。二日目、東照宮から昼食の店までの道を歩いているとき、「帰りのバス、渋滞しないかなあ」と話している子がいたので理由を聞くと、「そうすれば、修学旅行が長く続くから」と。友達と過ごすこの楽しい時間を少しでも長く味わいたいと思っていることが伝わりました。また、お土産の買い物中には「お揃いのキーホルダーにしよう」と迷いながらあれこれ選ぶ姿を発見。友達と買い物できることがとても嬉しそうでした。学校以外の場所で友達と様々なことを楽しむ「修学旅行」は、子どもたちにとって新鮮で特別なものだったようです。



修学旅行や宿泊体験学習は「学校行事」です。「学校行事」とは、全校又は学年という大きな集団を単位として行われる活動であり、日常の学校生活に秩序と変化を与え、学校生活をさらに充実、発展させることを目指しています。日常と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみながらよりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方も、体験を通して学んでほしいと考えています。また、「学校行事」の目標の一つに「全校で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して集団への所属感や連帯感を深めること」とあります。旅行中の子どもたちのつぶやきは、「友達と一緒にいることが楽しい」という思いにあふれていました。まさに、仲間とのかかわりを築き、仲を深めている姿です。

今回の修学旅行のテーマは「つばさを広げてイッテQ」～6年生の学年目標「白鳥」を意識して「6年生の思い出をつくろう」という思いを込めて考案したそうです。その通り、思い出いっぱいの活動になりました。行事での体験や思い出は、日々の学校生活を彩ります。子どもたちには、これからも様々な取組の中で「思い出」をたくさんつくってほしいと願っています。